

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 仁摩福祉会	代表者	石橋 秀利	法人・事業所の 特徴	仁摩町は自然豊かな環境に、約15分程度の移動半径に行政機関、医療機関、商店、文化施設などがあるコンパクトシティです。仁万、宅野、大国、馬路の4地区それぞれに文化的個別性があります。 法人は「個人の尊厳を尊重」、「地域福祉の増進」を基本理念に介護サービス、保育サービス、障害サービスを運営しています。 事業所は通いを中心に、泊り、訪問を柔軟に組み合わせて一体的に提供する小規模多機能型サービスを提供しており、これまでの暮らしの継続性を常に念頭に、生き甲斐活動も含めた生活全般のサポートに努めると同時に、地域住民間の互助の橋渡しに努めています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 ほほえみ	管理者	岩永 淳一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	1人	0人	0人	3人		7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	会議後には事業所ミーティングや申し送りノートを使用し、会議で出た意見に対して取り組んでいきます。	会議で出た意見や情報は、翌日の朝礼や、申し送りノートで共有を行いました。	改善計画が立てられ、それに沿って改善されていると思います。 腰痛など職員の体調に十分注意してください。	職員の体調には上司をはじめ事業所全体で注意し、休みをとりやすい職場風土を作ります。
B. 事業所のしつらえ・環境	来年度は引き続き掲示し、皆様に喜んでもらえるように取り組みます。	ほほえみでの活動写真や利用者の作品等を玄関先に掲示しました。来所される方々、ご家族様へも見て頂くことができました。また、来られる時や帰る時など、利用者も自分が写っていないか探して楽しまれる姿を多く見ることが出来ました。	都度玄関の飾りが変化しており、新鮮に観ることができました。	毎月事業所の飾りなどを変更し、利用者及び家族に楽しんでいただきます。 イベントの写真も積極的に撮影し、掲示します。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の困りごとをサポートできるように、ほほえみの活動紹介等を地域の民生委員の方やサロンへ発信します。また、地域食堂へ利用者と参加し、地域の方との交流の機会を設けます。	地域サロンへの事業所発信ができませんでした。 地域の文化祭へは作品出品をし、活動紹介が出来ました。 独居の方の住まわれる地域の民生委員の方とは、電話でのやり取りとなりました。 地域食堂では新聞紙で作成した	文化祭や地域食堂に積極的に参加されています。今後も続けてください。 新聞のエコバックは喜ばれたでしょうね。	地域食堂にてほほえみの活動を地域に発信していきます。 新聞エコバックの作成を続け、地域に贈呈します。

		鞆を贈り、買い物をした方のエコバッグとして活用して頂きました。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の住む地域の催し物に積極的に参加します。 また、地域食堂では新しい利用者の方に参加して頂き、サポートします。	利用者の住んでおられる地域への文化祭へ作品出品し、当日は文化祭に行くこともできました。 地域食堂「まんまんちゃん」へ毎回職員と利用者1名がお迎えする立場で参加し、地域の方と一緒に、盛り付けや片付けなど、得意なことをしながら地域の方と交流することができました。	地域に出向き、地域行事に参加されています。今後も継続してください。	文化祭への出展は継続します。 地域食堂への利用者参加は幅広い利用者に参加してもらえよう努めます。